

2022年9月21日

福島県知事 内堀 雅雄 様

福島県革新懇

代表 佐藤政男

みんなで新しい県政をつくる会

共同代表 井上 裕子

日本共産党福島県議会議員団

団長 神山 悦子

憲法違反の「国葬」への参加、半旗の掲揚の中止、
統一協会と県政との関わりの徹底調査・公表を求める申し入れ

現在、国会でも地方自治体でも、反社会的カルト集団である統一協会やその関連団体と政治家・行政とのつながり、癒着が次々と明らかとなり、批判の声が急速に広がっています。政治家が反社会的集団の広告塔となり、被害を拡大、政治がゆがめられてきました。

一方で政府が国会にもはからず、安倍晋三元首相の「国葬」を行おうとしていることへの国民の批判は、岸田首相の閉会中審査での説明以降さらに広がっています。マスコミ各社の直近の世論調査（17、18日）で、「国葬に反対」が、「毎日」62%、「産経FNN」62.3%、「日経」60%、「共同」60.8%と、反対が多数にのぼっていることから明瞭です。

安倍氏への「弔意」や「敬意」を強制する「国葬」は憲法上の規定はなく、統一協会の広告塔となった人物に対して「敬意」の強制は絶対にあってはなりません。

本県にとっても、安倍氏はオリンピック誘致の際、福島原発事故をアンダーコントロールされていると述べ、事故も被害も終わったことのように県民置き去りの復興をすすめ、全国の原発再稼働を推進してきました。ゆえに県内の世論調査でも国葬反対が66%をしめ圧倒的多数が反対しています。「国葬」に参加しない知事も出る中、内堀知事は「国葬」に参加することを表明しました。

私たちは9月5日に、弔意の強制を行ってはならないことを申し入れましたが、あらためて次のことを申し入れるものです。

記

- 1、知事は、安倍氏の「国葬」への参加をとりやめること。
- 2、県庁での「半旗」の掲揚は行わないこと。
- 3、県政と統一協会との関わりを徹底調査し、公表すること。

以上